

## H30年度 サイエンス探究Ⅱ 校内発表会の評価シート

**【終了時に、受付または係までご提出ください】**  
 ・発表を聴けなかったチームは空欄のまま構いません。  
 ・実験ではない研究もありますが、不利とならないよう評価ください。

評価者

タイトル

1. 研究内容の充実(G)	豊富な実験や調査等を行い、多彩な資料、データなどを調べ、粘り強く研究を行っている。	概ね十分な実験や調査等を行い、資料やデータなどもほぼ不足がない。	実験や調査等がやや不足し、資料やデータなどもやや不十分である。	実験や調査等が不足し、資料やデータなども非常に少ない。
	4	3	2	1
2. 研究の創意工夫(V)	先行研究等を調査し、検証可能な仮説を導き出し、検証方法や実験などに創意工夫を凝らしている。	先行研究等を調査し、検証方法や実験などで創意工夫を行っている。	先行研究等の調査や創意工夫がやや不十分である。	先行研究等の調査がなく創意工夫が見られない。
	4	3	2	1
3. 研究の論理性(R)	研究目的に即した適切な実験や調査等を行い、豊富な資料やデータなどの研究結果に基づいた論理的な分析や優れた考察がなされている。	適切な実験や調査等を行い、資料やデータなどの研究結果に基づいた適切な分析や考察がなされている。	実験や調査等の内容、資料やデータなどの分析にやや難がある。研究目的と結果、考察との関連がやや不十分である。	実験や調査等が不適切で、資料やデータなどの分析と考察も不足している。
	4	3	2	1
4. 研究発表における表現力	見やすい資料と分かりやすい説明であり、自信を持って堂々と聞き手とアイコンタクトをとりながら適切なスピードで資料を見ることなく発表できている。	資料と説明は概ね分かりやすく、手元の資料をほとんど見ることなく適切に発表できている。	資料や説明にやや分かりにくい点があったり、手元の資料を頻繁に見ながら発表している。	資料や説明が分かりにくく、原稿を読みながら発表している。
	4	3	2	1
5. 研究の理解度	質疑に対して分かりやすく的確な応答ができるなど、自分たちの研究内容をよく把握し理解している。	質疑に対して適切な応答ができるなど、自分たちの研究内容を概ね把握・理解できている。	質疑に対し適切な応答ができないなど、自分たちの研究に対する把握や理解がやや不十分である。	質疑に応答できないなど、自分たちの研究内容を把握・理解できていない。
	4	3	2	1

自由記述(各観点の評価規準で完全に区分はできない場合なども含めて、先生方のご意見をご記述ください)